

題 名	平成 28 年度第 2 回あま市立学校給食センター運営委員会議事録
日 時	平成 29 年 3 月 10 日(金)午後 1 時 30 分～
開 催 場 所	美和公民館 3 階 研修室
出席委員	(教 育 委 員 長) 堀江 徹二郎 (教 育 長) 松永 裕和 (篠 田 小 学 校 長) 飯田 康正 (甚 目 寺 東 小 学 校 長) 長谷川 孝臣 (七 宝 中 学 校 長) 近藤 真司 (美 和 中 学 校 長) 山中 仁 (甚 目 寺 中 学 校 長) 中山 良男 (伊 福 小 PTA 会 長) 松井 匡人 (篠 田 小 PTA 会 長) 村本 吉克 (甚 目 寺 東 小 PTA 会 長) 杉 敏行 (七 宝 中 PTA 会 長) 則武 憲嗣 (甚 目 寺 中 PTA 会 長) 加藤 昌也 (保 育 園 代 表) 菱田 洋子
欠席委員	(伊 福 小 学 校 長) 服部 泰憲 (美 和 中 PTA 会 長) 林 慶
事 務 局	(学校給食センター課主幹) 河竹 雅義 (七宝学校給食センター所長) 山田 恵里子 (甚目寺学校給食センター所長) 後藤 好和 (美和学校給食センター係長) 深見 恵子 (甚目寺学校給食センター主事) 横井 唯 (七宝学校給食センター栄養職員) 兼子 睦子 (美和学校給食センター栄養教諭) 玉谷 里美 (甚目寺学校給食センター栄養教諭) 増田 志津恵
傍 聴 人	なし
議 題	1.平成 29 年度学校給食用物資納入業者の指定について 2.平成 29 年度小中学校・保育園給食日数等について
報 告	1. 食に関する指導の取組について 2. 献立内容について 3. 衛生管理について 4. 保育園給食・食育について
会議資料	会議資料(PDF) ・資料 1 平成 29 年度学校給食用物資納入業者の指定について ・資料 2 平成 29 年度小中学校・保育園給食日数等について ・資料 3 食に関する指導の取組について ・資料 4 献立内容について ・資料 5 衛生管理について ・資料 6 保育園給食・食育について

議題

1. 平成 29 年度学校給食用物資納入業者の指定について

事務局説明

<主な質疑応答>

質疑なし

2. 平成 29 年度小中学校・保育園給食日数等について

事務局説明

平成 29 年度より中学校は 2 期制となり 2 学期の始業式等がなくなる関係で給食回数も増えることも併せて説明した。

<主な質疑応答>

質疑なし

報告

1. 食に関する指導の取組について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

海部東米の説明があるが、地元で収穫したお米や愛知県産の野菜を使っているという言葉だけではなく、生産者の生産過程の画像とかも見られるといいと思う。また、農家の方の顔も写っている配布物も楽しいのではないか。

(事務局)

検討していく。

2. 献立内容について

事務局説明

<主な質疑応答>

質疑なし

3. 衛生管理について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

先日の食中毒（ウィルス）について対応できるか。

(事務局)

和歌山県や東京の立川での食中毒について、きざみのりが原因であったとの報道があり、それを受けあま市では、原因となった食品納入業者の「のり」を使う予定や今までも使ったことはないということを確認し、近日中にのりを使う献立もあることから、小中学校の校長先生宛に情報提供の文書を出させていただいた。

あま市としては、各3センターの調理員や業者などに衛生管理を徹底するよう話をした。今後も気をつけて、提供していく。

4. 保育園給食・食育について

事務局説明

<主な質疑応答>

(委員)

保育園の弁当の日が毎月1回あるが保護者の意見はあるか。

(保育士長)

理解はしていただいているが、毎月はきびしいという声は出ている。

遠足等があると月に2回となることもあり、保護者から意見をいただくこともあるがお願いをしている。

5. その他

<主な質疑応答>

(委員)

毎月、小中学校の残食の推移の状況はどのようになっているか。

(事務局)

学校行事により、給食時間が短いと多くなったり、献立によっても変わってくる。

毎月、献立委員会で給食主任との意見を参考に残食量の改善に向けて常に取り組んでいる。

(事務局)

新学校給食センターの施設整備内容に係る基本的事項、市が要求する新学校給食センターの施設基準などを本年に取りまとめ、基本計画、事業方針、要求水準書案を作成し、平成29年1月にあま市のホームページへ掲載をした。また、あま市新学校給食センター整備事業プロポーザル審査委員会を開催した。平成29年4月に事業実施要領をホームページで公表する。

7月には第4回、第5回のプロポーザル審査委員会を開催し、プレゼンテーション及び質疑応答を実施し、受託候補者を特定する。10月より約7ヶ月間で基本設計・実施設計を行い、建設工事は平成30年7月頃から着手し、平成31年6月、建設工事竣工、2ヶ月間の準備期間を経て、9月からの供用開始を目標に作業を進めていく。

新学校給食センターは、1日に約12,000食への対応を可能とする施設とし、学校給食衛生管理基準に準拠したドライシステムの導入や、汚染作業区域・非汚染作業区域などの明確なゾーニング、衛生管理の手法ではHACCP（ハサップ）とよばれる概念を取り入れるなど、現在より安全安心な給食を提供するための施設整備としていく。

【閉会時刻：午後2時30分】